

星稜サ・エ・ラ

稲置学園 INAOKIGAKUEN NEWS LETTER

SEIRYO ÇÀ ET LÀ

No. 6

2007

CONTENTS

Special Issue

「人間科学部新設」記念座談会-その2-

心、身体、知性を磨き
次代を拓く人間を育てる、
スポーツ学科

星稜 hunt up
文武両道を行く！

星稜アレコレ

金沢星稜大学
星稜女子短期大学
星稜中学・高等学校
星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園

星稜Information



学校法人 稲置学園

「人間科学部新設」記念座談会—その2—

心、身体、知性を磨き 次代を拓く人間を育てる、 スポーツ学科

この四月、人間科学部スポーツ学科が開設されました。現代社会におけるスポーツの意義と役割、そしてスポーツ学科は何をめざすのか。次の四氏に話し合っていました。(敬称略)

石村 宇佐一 (金沢大学教育学部教授)

山下 智茂 (学校法人稲置学園理事・星稜高校野球部総監督)

宮崎 正史 (金沢星稜大学人間科学部長・教授)

池田 幸應 (金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科主任・教授)



左から池田幸應氏、石村宇佐一氏、山下智茂氏、宮崎正史氏

生活向上、人材育成、国際交流 スポーツの役割は幅広い

宮崎 ■スポーツは以前から社会に大きな役割を占めており、特に20世紀になって急速に発展してきました。そして社会的な広まりとともに、運動用具の開発や施設の整備、あるいはスポーツ分野の雑誌やテキストなどのさまざまなメディアも生まれ、経済分野、とくにサービス分野でもスポーツは大きなウエイトを占めるようになったと思います。

池田 ■いま、社会のいろいろなところで人間関係をうまく築けないという人が増えています。そのために、グループで仕事をしようという時に支障を来したりしていますね。単に健康になるためのものではなく、精神と肉体和をトータルに働かせて自分を表現する、それがスポーツだと思っています。

人とともに何かに取り組むとき、例えば企業でプロジェクトを立ち上げるとき、子どもが自分だけの世界に籠り大人になっても人とうまくつきあえないことを防ぐためにも、スポーツが活きてきます。スポーツを通して心と身体バランスをとるということで、社会的にも経済的成長にも有効なことだと思っています。

山下 ■最近の学校を見ると、不登校や学級崩壊などの問題があつて、教育現場は深刻な状況に陥っていると思うんです。また、世界のいろいろな国で紛争が起こっているのを見ると、スポーツを通して人と人との心のキャッチボールをしていかなければ、と思いますね。松井君とは巨人軍時代からベトナムへ行って野球の普及を行っていました、昨年は、元中日ドラゴンズの選手で、いまは野球解説者の小松辰雄君と一緒にベトナムへ行きました。野球の普及だけでなく、友好関係を作るという仕事です。むこうの若者はたいへんやる気があつて、こちらにも刺激を受けていますね。

石村 ■スポーツの社会的役割ということについて、私は、人々の生活の質の向上、クオリティ・オブ・ライフという観点から考えています。今日、生涯にわたってスポーツをすることの意義が大きく捉えられるようになりました。それは、長寿時代になり、ずっと健康



池田 幸應 いけだ・ゆきお／石川県金沢市出身。大学院修了後、金沢経済大学（現金沢星稜大学）に教員として勤務。専門は野外教育学と運動生理学。「地域社会を研究室」とし、とくに野外教育、生涯スポーツ、地域ボランティアの視点に立って、常に学生たちとともに地域に根ざした教育と研究を実践している。同大学人間科学部教授。

でありたいという健康志向が以前よりも高まってきたということに関わりがあるのだと思います。人生をより豊かにするためにスポーツは大切である、と考えられるようになったんですね。それがスポーツの社会的な役割でもあると私は考えています。

スポーツ学科には 熱意と活気が溢れる

池田 ■全国のスポーツ学科の中には技術的なトップアスリートの育成だけを目標にしている大学もあります。しかし、本学のスポーツ学科のコンセプトは、社会に貢献できる人を育てることです。スポーツを通して楽しい充実した学生時代を過ごした学生は、社会に出てても頑張れると思うんですよ。本学は、人間としてのトップアスリートへの育成をめざしています。

石村 ■スポーツについては星稜には高校での大きな実績がありますからね。**宮崎** ■本学にスポーツ学科ができたのは、石村先生がおっしゃったようにもともと星稜に素地があつて、池田先生の言われたコンセプトのもとに実現したということなんです。

山下 ■私はいろいろな高校へ練習試合に行きますが、星稜にスポーツ学科ができたことを話すと、皆さん喜んでくださるんですね。「その学科にうちの生徒も何人かお願いします」とか言われます。そんな時、星稜は全国的にも名前が知られているんだということを感じます。いい学科にしていきたいと、責任も感じますね。

宮崎 ■良いカリキュラムにするために、石村先生はじめ多くの先生方からたくさんのおアドバイスをいただきました。

池田 ■石村先生は心理学がご専門で私



宮崎 正史 みやざき・まさふみ／広島県広島市出身。大学院修了後、会社員、広島女子商短期大学助教授を経て、平成10年より金沢経済大学（現金沢星稜大学）教授。専門はシステム科学。部長職を歴任し、大学の運営にも力を尽くしている。人間科学部の設置に際しては中心的役割をつとめ、平成19年4月より同学部長。

心、身体、知性を磨き 次代を拓く人間を育てる、 スポーツ学科



山下 智茂 やました・ともしげ／石川県門前町出身。大学卒業後、星稜高等学校に社会科教員として勤務。野球部監督も務め、春夏25回の甲子園出場を果たす。野球を学問として捉え、技術以上に「心の教育」を重視した指導を行う。現在も、同高校野球部総監督ならびに理事として学園のスポーツ発展に尽力。平成19年より日本高等学校野球連盟技術指導員・評議員。

は大学で先生に教わりました。
山下 ■石村先生には、高校生にもメンタル面での強化をご指導いただきました。

石村 ■星稜高校時代の松井選手の心理検査をさせていただきました。それは、たいへん貴重なデータです。講演の時にこの話にちかりと触れますと、半ば居眠りをしていた人も、はっと目を覚ましますね。

池田 ■松井選手はまじめで誠実な人。

山下先生が教えられた影響が大きいと思います。先生は常に「私は野球を教えているのではない、人を育てているんだ」とおっしゃられてきた。まさにこのスポーツ学科の基本と一致します。
山下 ■いま、星稜大学でもっとも感じるのは、先生や職員のやる気、熱気ですね。これに引かれて学生たちが変わってきた。きちんと授業にしていま

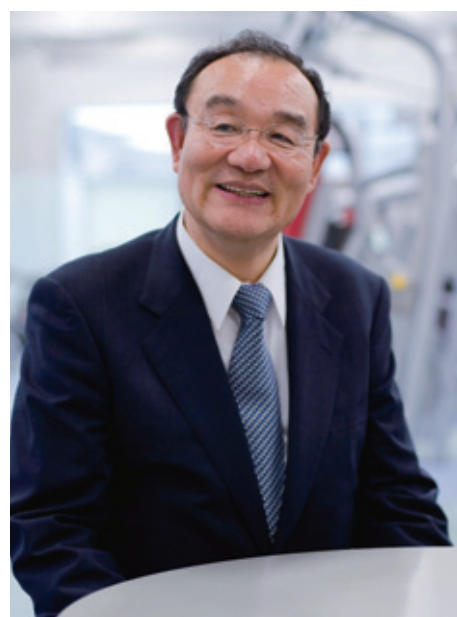
すし、挨拶もよくなりました。学生が楽しそうで、大学全体に活気を与えていますね。

宮崎 ■私もそう思います。朝の講義に出ますと、以前は「おはよう」と声をかけてもあまり反応がなかったんですが、この頃は様子が変わってきたなど。元気になってきましたね。

池田 ■山下先生から「学生が楽しそうだ」とご指摘がありました。楽しいからこそ次のステップにいけるんですね。スポーツ学科の学生は明るい、声もはきはきとしています。昨今、そういう若者が減ってきているんですね。

進路に即した3分野 フィールド演習を重視

宮崎 ■スポーツ学科では三つの教育モデルを用意しています。スポーツが社会に働きかける3分野をカバーするものです。一つは地域社会の指導者たる人材を育てるスポーツ教育。指導者というのは、保健体育の教師もあれば、地域社会のリーダーもあります。二つ目はスポーツマネジメント。スポーツクラブやスポーツ施設の経営、人のマネジメントも含め、広い意味でのマネジメントを学び、さまざまな分野で活躍できる人材を育てます。三つ目のスポーツアスリートは、肉体を鍛えることで人間の可能性を追求する分野です。国内外の競技会で活躍できる人材を育



石村 宇佐一 いしむら・うさいち／山口県岩国市出身。大学卒業後、金沢大学に勤務。スポーツ心理学を専門とし、教員養成をはじめ大学の体育教育に尽力する。平成14年4月から18年3月まで、同大学教育学部附属中学校校長を兼任。2000年～2008年、日本オリンピック委員会強化スタッフとして選手のメンタルサポートにあたる。1985～86年ニューヨーク州カニヤス大学バスケットボールオフィスでコーチングを学ぶ。金沢大学教育学部教授。

てる、身体に関する専門的な知識を習得して後継者の育成ができる人材を育てる、スポーツリーダーとしての仕事をするためのバックグラウンドを学ぶ、そういう分野です。

石村 ■金沢大学で全国のトップを切つてスポーツ学科を立ち上げたわけですが、設置準備の時、スポーツという言葉を使わないでほしいと言われたほど、スポーツに対する認識は低かったですね。それから20年が経ち、スポーツへの認識が高くなりました。金沢大学にも、他の大学が見に来てくれるようになり、私たちが努力してきた甲斐があったなと思うんですよ。

いま、スポーツに関する学科がたくさんできてうれしいと思う反面、追い越されてはいけないという気持ちです。
池田 ■本学も地域と繋がっていくことが重要と考えて、カリキュラムにフィ

ールド演習を採り入れていることが特徴の一つです。すでに学生たちは、積極的に地域に出て、様々な活動に取り組んでおり、大学同士が互いのよいところを出し合い協力していく、そうした連携が今後さらに活発になることが必要です。

宮崎 ■私たちのフィールド演習は、人々と問題をともに考え、悩む、という経験の中から学び、また人間関係の形成の材料を得てほしいというねらいをもっています。まず二次次では、社会の人々は問題を解決するためにどんな努力をしているか、どのように組織を運営しているか、何か新しいものを作るか、という時にどう取り組んでいるか、などについて学びます。三次次には、二次次の経験を踏まえ、組織のスタッフとして仕事をし、成果を出せるように貢献する。運営そのものに関わって

いきます。

池田■フィールド演習は必修科目です。連携する対象は地域住民は勿論、行政やNPO、企業などですが、どの組織にも経済、福祉、歴史、国際化など、あらゆるキーワードがあつて、学生にはそれらをすべて経験させたい。二年次は社会に出て、いいこと悪いこと、疑問などを感じ、こうしたらどうだろうかと発想する。三年次は、スタッフとして地域に提案をしていく。この時点では実際の社会人ようになっていくというのが教育目標です。

心と身体が統一された たくましい人間を育てたい

池田■スポーツ学科では保健体育の教員免許が取得できます。だからといって教員にこだわらなくてもいい。人を教えることや人と人との関係論を学ぶことは、実社会に出て役立ちますから。**石村**■金沢大学の附属中学校長を務めていた頃、教育実習の学生に、教員としての使命を果たさない、情熱を持ちなさい、専門的な実践力を身に付けなさい、この三つの話をしました。また、子供が好きでないと教員はできません。教えることが好きで、自らも学ぶということでないとならずにやっていけません。

宮崎■スポーツ学科の学生を見ていますと、行動が早く、物事をてきぱきと

こなす。子どもを教えるには、ともに活発に動けるということが大切ですね。教育者は子どもの心を理解し、場合によっては自身が子どもの意識になることも必要です。

池田■「子どもの心がわからない」という話をよく聞きますが、大人もかつては、小学生、中学生、高校生だったわけですから、小中高の生徒から大人までの目線になれるはずなんです。そういう資質のある人を育てるべきじゃないかと。

宮崎■学生がスポーツの専門家になるだけでなく、人間として成長できる、私たちにはそういう指導をしていく責任があるわけです。山下監督は野球を通して、そのように生徒を育ててこられました。石村先生は、スポーツ心理学という専門的な観点から、トップアスリートを指導されてきました。人間は心と身体が統一体であつて、それを自覚して取り組む学問がスポーツ科学だと思っています。

石村■心と身体が重要なものであつて、心だけでやるといえれば精神論になってしまう。身体ができて心が育つと私は考えています。心を鍛えるには「気付き」が必要で、チャンピオンになる人は桁外れの「気付き」を持っています。強くなるうという意志がないとタフにはなれない、自ら考えて行動するという力を鍛えていく、これ

がメンタルトレーニングです。星稜高校でも、メンタルトレーニングについてこうしたことを話してきました。

山下■長く野球の指導をやつてきて、心技一体、心の大切さを感じています。大リーグでは、アメリカ人の選手は自分のグローブもスパイクも人に磨かせて、自分では磨かないですね。ところが、松井君やイチローは人には磨かせない。自分の手のように、自分の足のようにきれいに磨くんです。物に感謝する、物を大事にするという心ですね。一流選手は心も高いのだと感じますし、うれしく思います。

志高い学生を送り出す 志高い教育の場をめざして

池田■日本ではまだ、スポーツに関して身体面を強調し過ぎています。しかし、身体だけ、心だけというのはあり得ない。いまの社会で、スポーツを根性論ではなく、学問的科学的に捉えて人材を育てていく。学科ではスポーツを科学的実践的に学んだ上でスポーツを楽しむ、社会に出て、子ども、障害のある人、高齢者、と幅広い人たちに進んで声をかけられる。そういう学生を育てるために頑張りたいと思います。**宮崎**■人間科学部というのは、よい名前だと私は思っています。スポーツ学科も子ども学科も、基本的な理念は人間を探究することです。人間の知的な、

また身体的な可能性を発見し、人間に対する理解、人間の素晴らしさへの理解を深めることで、自己の人間力を高めていく。そういう教育をしていきたいと思っています。

石村■大学はここ十年で大きく変わってきました。金沢大学も再編し、変わろうとしています。金沢星稜大学も将来に向かって大きく変わるべきですし、そのチャンスだと私は思っています。学生から選ばれる大学になること、それが教員のめざす方向になるでしょう。

山下■地方の大学にも夢があり、また夢のある学生、凛とした学生を育てたいですね。皆さんと力を合わせて素晴らしい学部、学科に、北陸でナンバーワンに、よろしく願っています。



文武両道を行く！

近年、文武ともに実績をあげている星稜高等学校。
その魅力をご紹介します。



生徒諸君、 実り豊かな三年間を！

星稜の年間予定表を見ると、目に

平成19年度の入学者のうち専願者が200名あまり。星稜に対する期待のほどがうかがわれます。
その評価の鍵は、志望と能力に応じて選択できるコース制にあるのでしよう。このコース制が導入されて今年で6年目。かつて、平成6年に国公立大学の合格者164名という過去最高を記録しましたが、それ以降、この数字をなかなか越えられずにいたところ、平成14年にコース制を採用、国公立の合格者が160名を超えました。平成18年度には204名にまで達しています。

留まるのは特別授業の多さ。一年次から夏季休暇中に10日間の補充授業、三年次には夏季休暇のほとんどが補習に充てられています。

「授業が原点。三年間で生徒が自分のめざす大学へ進めるだけの学力や夢をかなえる力をしっかりと身に付けさせなくては、という思いで取り組んでいます」という副校長干場先生の言葉は、先生方の総意でもあるのでしよう。

一学期期末テスト期間中、星稜の校舎をのぞいてみました。教室では何人もの生徒が机を合わせて試験勉強中。一、三年の職員室をのぞくと、常設の質問コーナーで、テキストの前に生徒を教える先生方の姿。このコーナーは日ごろから質問に来る生徒のために設けられたものですが、とくに試験直前から試験中にかけては多くの生徒が訪れ、列を成すことも珍しくないそうです。副校長室なども質問の生徒でしばしば満杯になるとか。

習熟度別指導で 学力を着実にアップ

星稜高校のコースは3つ、難関国公立・難関私立大学をめざすAコース、部活と勉学を両立しつつ国公立・私立大学への進学を志すBコース、部活動に励みながら大学進学をめざすPコースです。



すPコースです。

Aコースでは、週37時間という豊富な授業数と独自のカリキュラムに基づいて勉学に専念できます。特筆すべきは、プレテストと定期試験という2段階によって学力の習熟度を確認する方法を採り入れている点でしよう。一般に定期テストは教科書の内容を理解しているかどうか、その到達度を計るための問題ですが、

Aコースの場合、プレテストで教科書レベルにあたる基礎力を確認し、基礎力に不足があれば補習を行い、定期試験では発展応用問題に臨みます。

そのAコースの教室では、放課後、生徒たちが自主的に勉強する光景も日常的だとか。

Bコースは、現在は週33時間授業ですが、来年度からは週3回、7限



スポーツの精鋭たちが 切磋琢磨するための 充実した環境

Pコースは、部活動で全国トップレベルの成績を狙うアスリート集団。週2回、6限目を専門体育として部活動にあてます。また、ウインタースポーツや登山などの校外学習を行い、所属の部活動以外でもさまざまなスポーツが体験できるようになっています。

授業が行われ、週35時間授業になります。このコースにおいて特徴的なのは、習熟度別にトップ、セカンド、レギュラーというクラスに編成されている点。定期テストもグレード別の内容になっています。生徒にとって、簡単な問題では意気が失せ、難度が高すぎる問題では達成感が得られない……。いかにしてその学習意欲を引き出していくか、先生方の腐心のほどがうかがわれます。

また、1年次、2年次、3年次に上がる際には、学力習熟度によって改めてクラスが編成されるため、生徒は成績向上への意欲が常に喚起される環境にあります。

運動施設や設備も充実しています。たとえば星陵に初めて訪れた人は、美しい

グリーンの人工芝を目にして驚くはず。このサッカーグラウンドをはじめ、甲子園サイズの3つの野球場、400mのブルートラックを備えた陸上競技場などが揃っています。また、強豪チームと合同練習や交流試合を盛んに行ったり、プロをはじめ一流選手の指導を受けたり、と生徒は高いレベルのスポーツを体験できるとともに、スポーツに熱中できる環境にあるのです。

そうした部活動を通して生徒は心身の鍛錬と同時に、きちんとした挨拶、監督や先輩など目上の人への礼儀、時間の厳守などの規範を自然に身に付けていく。これが星陵の人間

教育のひとつになっているのでしょう。

一方、勉強面でのサポートも厚く、部活単位での勉強会などもしばしば行われています。

知育、体育に加え 徳育も重視

星陵高校では徳育にも力を入れています。昨今、「勉強さえしてくれれば」という家庭に育ち、社会人になっても挨拶さえできない、社会のルールが守れない、という若者が少なくないのも否めません。星陵では、生徒たちの服装、態度などの規範面や道徳面で指導すべきことが見つかった場合は職員室の朝礼で取り上げ、全校生徒にいきわたるよう、きめ細かな指導を徹底しているそうです。

地域に根ざした徳育指導にも積極的に、小坂地区の小中高校で作る青少年健全育成推進協議会の参加校として先生方が朝の挨拶運動をしたり、あるいは学生寮の生徒は定期的に地域の清掃ボランティアを行ったりしています。

また、いろいろな課外活動も行われています。賑やかな星陵祭や修学旅行、フィールドで学ぶ文学散歩や歴史探訪、海外語学研修(後者3つは希望者参加)……。そうした活動の中で生徒はよき友人を得、高校時代で

なくてはできない体験をするのです。

知ってほしい、実感してほしい、この学内の活気

今回の星陵高校訪問はわずかな時間でしたが、学校案内やホームページからは知ることができない「星陵」に出会うことができました。職員室・質問コーナーで見た先生と生徒の一心な表情。級友とともに机に向かう



生徒の真剣な中にも楽しげな様子。運動部の覇気溢れる練習風景。廊下に響く「こんにちわ」の声。それは、光を求めて伸びていく若木のような星陵生たちでした。

「あの先生に出会い、あの友人に出会い、精一杯の三年間を過ごせた。星陵に来てよかったーそんな思いで卒業させたい」。干場先生の言葉が実に印象的でした。

アコレ 星稜

★「星稜さわやかパトロール隊」が防犯を呼びかけ

生徒たちによる自主防犯パトロール隊「星稜さわやかパトロール隊」が5月14日、自転車の盗難防止と周辺地域の治安向上を目的に、金沢東警察署との連携により発足しました。校内・校外の見回りや自転車の二重ロックの呼びかけを行います。

7月11日には、金沢東署と地域がランティアによる防犯パトロール出発式に参加しま



少年補導員や交通推進隊らとともに防犯パトロール出発式に臨む「星稜さわやかパトロール隊」

した。
す。

今後は最寄駅や大型ショッピングセンターなどでも、自主的な防犯活動に取り組み



★「クリーン・ビーチいしかわ in かなざわ」に参加

野外スポーツ部と池田ゼミがスタッフとして参加!!

5月27日(日)に行われた「クリーン・ビーチいしかわ」に、市民1万1千人が参加し、市内6海岸に分かれ、いしかわの海岸線を掃除しました。本学からは、野外スポーツ部・池田ゼミの学生ら約50人が企画・運営スタッフとして参加し、市民約300人と一緒に打木海岸の清掃に汗を流しました。



市民と掃除する学生たち

★『星稜TODAY』500号達成!

大学・本部職員が、毎朝学生に「おはよう!」と声を掛けながら配布しているミニ情報紙「星稜TODAY」が、6月29日(金)で第500号を達成しました。

などさまざまな情報を掲載しています。
ホームページでも掲載していますので、ぜひご覧下さい。
<http://www.seiyo-u.ac.jp/published/index.html>



第500号

★短 ツエーゲン金沢 観戦者調査

Jリーグ入りを目指す金沢のプロサッカークラブ「ツエーゲン金沢」と田島講師を中心とするスポーツマネジメントコースの学生が協力して、スタジアムで観戦するファンに調査を実施しました。

7月1日、北信越フットボールリーグ1部・ホーム最終戦(金沢市民サッカー場)にて、来場者全員に調査用紙を配布し、観戦動機や、観戦満足度についての質問に答え

ていただきました。
調査結果を報告書にして、ツエーゲン金沢に提出するとともに、今後は、そのデータを利用し、地元のプロチームを応援するシンポジウムを開きたいと考えています。



★ Seminar Community 「セミナー」コミュニティ

「第17回日米草の根交流サミット」(能登大会に参加)

平成18年度より、学生が地域に出向き、体験学習を通じて人
生観や社会性を育てる『セミナー・「コミュニティ」プログラム
を実施しています。

2年目の今年は「地域とビジネス」、「スポーツ&文化」、「女性
と感性」の3領域でプログラムを開講しており、今回は「スポー
ツ&文化グループ(大森教授・辻教授・田島講師担当)の取組み
を紹介します。

■「スポーツ&文化」プログラム

「スポーツや文化という
対象を「観光」という切り口で
体験学習する「スポーツ&文
化」プログラムの学生は、(財)
国際草の根交流センターが主
催する『日米草の根交流サ
ミット能登大会』(※6月7日



能登ロイヤルホテル



国際観光シンポジウム

「11日の5日間、能登に28
4名のアメリカ人が集まりま
した」に参加し、国際交流に
挑戦しました。

「国際交流・観光を核とした
能登地域の活性化について調
査」、「国際観光に関するシン
ポジウム」、「クロージング
パーティー」と、さまざまなプ
ログラムを経験することがで
きました。

貴重な国際交流の機会を得
ると同時に、『観光を核とした
能登の地域活性化』を考える
ことも大きなテーマに掲げて
います。実施した調査結果を、
11月に七尾商工会議所へ提出
する予定となっています。

★ 総合研究所 研究情報月報 『Brezza』(ブレッツァ)『創刊』

本年4月の人間科学部設置
に伴い、経済研究所は、活動
部門をこれまでの「経済経営
研究」に、「人間科学研究」、「情
報研究」、「教育実践研究」、「地
域協働」の機能を加え、総合研
究所として新たにスタートし
ました。総合研究所は、本学
の研究力を高め、それを基盤
に、学外・地域との連携・協
働によって、地域の発展に貢
献する新たな知を積極的に生
み出すことを目指しています。



★ 稲友会総会開催

6月16日(土)、稲友会(保護
者会)総会を開催しました。
昨年度の決算及び監査報告、
本年度の活動計画及び予算案



が審議され、原案どおり承認
されました。
また、個別懇談会も開催し
、ゼミ担当教員から、成績・出
席状況、大学での学生の様子
などをお知らせしました。



ゼミ担当教員による個別懇談会

第7回 星稜ワンカル講座

今年度も星稜ワンカル講座
(600円のワンコイン)でだ
れもが受講可能な講座がさ
まざまな分野の講師を招いて
開催されています。

6月30日(土)は「平成19年
度税制改正のポイント」を
テーマに、本学加藤順弘教授
が講師となり今年度の主な改
正点について話しました。

今回の講座には、税理士事
務所に勤務している会社員の
方、現在税理士や国税専門官
を目指し勉強しているCDP
の学生など19名が参加しまし
た。

次回、第8回は7月28日
(土)に環境と経済の両立環
境問題やエコピープルなどに
ついてNPO法人エコピープ
ル支援協議会の講師をお招き
し開催します。



★ 大学院修了生 税理士合格！

南海豊充さん

税理士を目指して本学に編入し、平成18年3月に大学院を修了した南海豊充さんが、今年5月24日、晴れて税理士となりました。

平成17年4月にCDP（キャリア・ディベロップメント・プログラム）税理士コースができ、多数の学生が税理士試験合格のため頑張っています。南海さんの二コースは、学生たちのよい刺激となるでしょう。

南海さんよりメッセージ

私が税理士を目指しはじめて早5年、勉強が嫌になり挫折しかけたこともありましたが、この大学に入学し、坂野先生をはじめとする多くの先生方のご協力のもと、ここまでたどりつく事ができました。

みなさんも、ゼミ等を有効に活用してディスカッションを行い、共に合格を目指してもらいたいと思います。



坂野副学長(左)と

私は、まだまだ税理士としては駆け出しですが、これから実績を重ねていき、会社に貢献できる人間を目指します。

南海公認会計士事務所
税理士 南海 豊充

★ 「二以貫之 いつもつらめく」をテーマに講演会

6月30日(土)、片腕でありながら剣道で活躍されている大阪府在住で教師の高宮敏光氏をお招きし、講演会を開催しました。講演の中で、幼い頃より、先生方から「負けたら終わりではなく、あきらめたら終わりだ」と教えられてきた。自分で決めた目標を達成するためにどうすればよいか、自分ができることを考え工夫し、実行するようになってきた。子どもたちにも「やって

みないとわからない」と話しながらチャレンジすることを教えていると話されました。



★ 合唱コンクール

7月7日(土)、稲置講堂で第7回星稜中学校合唱コンクールが行われました。各クラスがそれぞれスローガンを掲げ一致団結して練習に取り組み、本番では素晴らしい合唱を披露しました。

最優秀賞は一年B組、優秀賞は一年A組でした。

また、直江学美先生(大学・高校教員)のプチコンサートも行われ、美しい歌声の鑑賞ができました。



★ 県大会出場

県予選を勝ち抜いたクラブ及び選手が全国中学校体育大会出場を目指して、7月21日から開催される石川県大会に出場します。

- サッカー部
- 水泳部 100mバタフライ 坂野(1年)
- 陸上部 400mリレー 東(2年)、荒井(3年)、山田(3年)、坂本(1年)
- 100m走 坂本(1年)
- 剣道部 大田(1年)



★ 野球部 北信越優勝 横浜へ

6月30日(土)～7月1日(日)石川県立野球場において開催された第24回全日本少年軟式野球大会北信越ブロック予選に、石川県代表として出場しました。

初戦で塩尻塩嶺クラブ(長野県代表)を1-0で下し、決勝戦では新湊南部クラブに4-2で勝利。4年ぶり8度目の全国大会出場を決めました。

全日本少年軟式野球大会は、予選を勝ち抜いた16チームが出場し、8月13日から4日間の日程で横浜スタジアムにおいて開催されます。



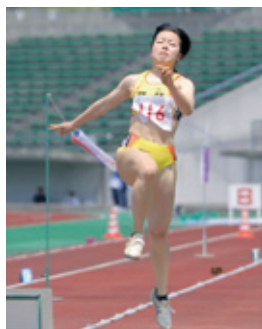
★ 囲碁

【第31回全国高校囲碁選手権大会石川県大会】

男子団体戦 優勝

★ 【平成19年度石川県高等学校総合体育・文化大会】

- サッカー 優勝
- 陸上 男子総合 優勝
(3年連続16回目)
- 女子総合 準優勝
- トランポリン
男子総合 優勝
(男子Aクラス団体 優勝)
- テニス
男子団体 準優勝
女子団体 優勝
(女子ダブルス・シングルス優勝)



- バレーボール 女子 準優勝
- ソフトボール 男子 準優勝
- バスケットボール 男子 準優勝
- 空手道 女子個人組み手 優勝
- 将棋 個人戦 優勝

【佐賀インターハイ出場】

- サッカー
- 陸上 男子 200m、800m、1500m、110mハードル、
4×400mリレー、三段跳、走幅跳、走高跳、
八種競技
- 女子 4×400mリレー、走幅跳、3000m競歩
- ソフトテニス 女子 個人



【島根総文出場】

- 将棋 個人戦
- 囲碁 石川県選抜として出場

★ 本田 圭佑選手 後輩にエール

7月9日(月)から15日(日)、名古屋グランパスエイトの本田圭佑選手が母校の星稜高校を訪れ、サッカー部の後輩たちとともに、練習に汗を流しました。先輩のプロサッカー選手との練習は、後輩たちにとってよい刺激となりました。
〈インターハイに出場する後輩たちへのエールをいただきました。〉



“石川は、涼しいので、夏の大会はなかなか勝てない。一緒に練習していると、育ってきている選手もいると思う。”

勝つためには気持ちと体力が大事。これから大会までに気持ちと体力を上げていって、限りなく優勝に近づけるようがんばってほしい。”

本田選手 プロフィール

2005年 星稜高校卒業後、名古屋グランパスエイトに入団
U-20日本代表(2005年)、U-21日本代表(2006年)、U-22日本代表(2007年)、日本代表(2006年)

★ 杉林講師 日本陸上選手権大会 三段跳優勝！世界陸上に出場

杉林孝法講師(星稜高校出身)が、6月29日(金)から7月1日(日)大阪市の長居陸上競技場で開催された日本陸上競技選手権大会に出場し、三段跳(16m90cm)で優勝しました。

世界陸上競技選手権大会大阪大会(8/25開幕)の代表選考を兼ねており、2003年パリ大会出場以来2大会ぶりの世界選手権出場を決めました。日本記録(17m15cm)の更新が期待されます。



〔写真提供：アジャンシー・ショット〕

★ 平成19年度 北陸大学野球連盟春季リーグ 北川智朗さんベストナイン選出!!

春季リーグ戦のベストナインに本学の北川智朗(経済学科4年)さんが遊撃手として選ばれました。北川さんは、今回で3回目のベストナイン受賞となります。

3回の受賞は、現役選手としては最多数の受賞となります。今春の打率.386はリーグ全体で3位。17安打は、リーグ1位の好成績を残しました。



★ 短 北信越陸上選手権 稲本さん第2位

5月12日(土)、13日(日)に福井県で開催された第81回北信越学生陸上競技対校選手権大会に、短大陸上部から2選手が出場し、稲本雅子選手(2年)が400mで2位、則島美里選手(2年)が走高跳で4位入賞を果たしました。



学長から優秀スポーツ賞
奨励金を授与される稲本選手

★ 短 北陸三県私立短大体育大会で奮闘

6月23日(土)、24日(日)の2日間にわたり小松市で行われた第40回北陸三県私立短期大学体育大会(主管校:小松短期大学)に、本学からバレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ソフトテニス、テニスの6競技に42名が出場しました。

- バレーボール 第3位
- バドミントン ダブルス ベスト8
清水美香・清原 唯(2年)
- ソフトテニス 個人 ベスト8
片桐美生・春木彩花(2年)、
北村千春・津田育子(1年)
- テニス ダブルス ベスト8
洲崎 舞・竹森由佳(2年)、
番匠香菜・永島泰香(2年)



★プール開き★

今年もやってきましたプール開き！

この日を楽しみにしていた子どもたちは、水とすぐに仲良しになります。さかな🐟のようにピチピチバシャバシャとっても気持ちよさそうです。

事故やケガなく安全に楽しくプールあそびができるよう祈願してスタートしました！



5月18日(金)にスタートした21世紀美術館「あさって朝顔プロジェクト」に星稜幼稚園も参加しています。種を植えて育った苗のいくつかは美術館へ、残ったたくさんの苗は園で大切に育てています。

この日は、苗を大きめのプランターに植え替える作業に子どもたちが挑戦！園長先生にやり方を教えてもらいながら、がんばってやってみました。



自分たちが種から育てた朝顔が夏にどんな花をさかせるのか、今からワクワクしている子どもたちです。



あさって朝顔プロジェクト



21世紀美術館をアサガオで覆い尽そうという「あさって朝顔プロジェクト」に星稜泉野幼稚園も参加しています。年長さんが種まきをして育てた苗、太陽の光とお水をグングン吸って本葉も大きくなって、小さいポットの中では窮屈そう……。そこで園長先生や運転手さんから説明を聞いて、プランターに植えかえてあげました。園の玄関で空にむかって伸びようとがんばっています。



★どろんこ遊び★

梅雨入りまえの蒸し暑い毎日子どもたちにとっては、水や砂の感触を楽しむ大好きな日々です。



「どろんこするよー」そんな先生の声が、苦手の着替えも大急ぎで終えてしまう魔法の言葉になったりするから不思議です。

★アスレバル

いしかわ2007★

★幼 星稜幼稚園

“アスレバルいしかわ2007”（幼児体育祭）が西部緑地公園陸上競技場で行われ、星稜幼稚園年長児80名も元気に参加しました。

うた、体操、ダンス、玉入れ競技、パラバルーンとがんばった最後に、子どもたちのメッセージが込められた花の種を、風船に託して空いっぱい飛ばしました。

その光景はとっても感動的☆

風船が小さくなって見えなくなるまでずーっと手を振り見送っているかわいい子どもたちでした。



★幼 星稜泉野幼稚園

★みんなで遊ぼう土曜日★

6月の第3土曜日、園庭で「みんなで遊ぼう土曜日」の会が行われました。その日は、お父さん、お母さん、おじいちゃんやおばあちゃんも加わって、大玉ころがしやかけっこ、パラバルーンなどを楽しみました。

安心してお母さんから離れ、暑い日ざしにも負けずに元気に走り出す姿に、新しいクラス、新しい仲間を心よせはじめていたのが見えた一日でした。



*日本語サミット 世界16か国パネリストたちが来学

「地方プログラム」期間中の6月26日(火)から7月9日(月)、学園の教職員や生徒・保護者がホストファミリーとなり、世界16か国からのパネリストたちを受け入れました。

パネリストたちは、それぞれのホストファミリーで石川の生活に触れ、大学キャンパス内では、スピーチの準備をしたり、授業やクラブ活動に参加して、生徒・学生との交流を深めたりしました。

7月9日(月)に石川県立音楽堂で行われた「2007石川日本語サミット」では、パネリストたちが「平和－民族の壁をこえて」をテーマに日本語で意見交換をしました。また、フェアウェルパーティーでは民族衣装・芸能などを披露しました。

ニッポン代表のパネリストとして、星稜高校3年北村佳織さんが参加しました。



本学でのホストファミリーとの対面式



石川県立音楽堂での「2007石川日本語サミット」



全日空ホテルでのフェアウェルパーティー

*創造空間『ピアッツァ工房』完成！

金沢星稜大学人間科学部こども学科の新設を機に、『遊び』『表現』『造形』『実験』のスペースからなる創造空間『ピアッツァ工房』が開設されました。

ここでは、協調して企画・立案・実施・評価する態度を身につけ、こどもについて科学的・実践的に学びます。また、実際の子育ての場として地域社会への開放も計画されており、こどもについて活きた知識・情報を共有します。



『造形』スペース



『表現・あそび』スペース

理事長室から

阿竹氏、森山氏
金沢星稜大学
名誉教授称号授与

金沢星稜大学名誉教授称号授与式が5月9日(水)理事長室で行われ、金沢星稜大学元教授の阿竹秀好氏と森山誠一氏に名誉教授の称号記が授与されました。

名誉教授の称号は、多年本学に勤務し、教育上又は学術研究上特に功績のあった教授に授与されるものです。



前列左2人目より阿竹氏、森山氏

* 星稜女子短期大学は、平成20年度から5コースになります。

従来の3コース制を5コース制に変更することで、それぞれの学生が目指す方向性にあわせて、専門性の高い知識と実務能力を学ぶことを可能にします。

専門教育と教養教育そして人間・キャリア教育(Seminar Community 女性とビジネスマナー)をあわせ、人間性とビジネススキルを兼ね備えた魅力ある女性の育成を目指します。



* 金沢星稜大学オープンキャンパスのご案内

3年生だけでなく、保護者や1・2年生もお気軽にご参加ください。

■日時・内容

	日 時	内 容	模擬講義
第2回	平成19年 8月 5日(日) 10:00~14:30	◎学部・学科紹介 ◎模擬授業	●会計は面白い！会計で企業を知る。 講師：山崎 泉
第3回	平成19年 8月25日(土) 午前の部 11:00~ (商業高校・税理士希望者対象) 午後の部 14:00~ (上記以外対象)	◎入試概要説明 ◎先輩大学生企画 ◎キャンパスツアー ◎個別相談コーナー	●体験しよう！CDP公務員 講師：山田太郎 ●「パネ」を身につける(実技) 講師：杉林孝法 ●高校生にもわかる経済のしくみ 講師：木村正信
第4回	平成19年 9月30日(日) 10:00~14:30	◎学食体験 ◎他大学に勝る就職！ その理由	●一般入試対策講座 講師：馬場 治 ●こどもの発達と人間関係 講師：北川節子ほか (敬称略)
第5回	平成19年10月20日(土) 10:00~14:30	◎必ず資格が取得できる星稜の取り組み	※詳しくは大学ホームページで
第6回	平成19年12月 9日(日) 10:00~14:30		

* 星稜女子短期大学キャンパス見学会のご案内

高校生のみならず保護者の方も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

■日時・内容

	日 時	内 容	模擬講義
第1回	平成19年 7月28日(土) 10:00~13:30	◎大学および学科・コース説明	5コースそれぞれに関連する模擬講義を毎回開講します。
第2回	平成19年 8月25日(土) 10:00~13:30	◎平成20年度入試説明	●ポスターにチャレンジ
第3回	平成19年 8月26日(日) 10:00~13:30	◎模擬講義 (この間に、保護者向け相談コーナーも設けます)	●旅行ビジネスとプライダグビジネス ●企業の利益について考えよう
第4回	平成19年 9月 8日(土) 10:00~13:30	◎昼食兼在学生との懇談会 (学生生活・課外活動等)	●商品は時代の流れとともに変化する
第5回	平成19年10月13日(土) 10:00~13:30	◎施設見学ツアー ◎進学相談コーナー	●楽しいスポーツプログラムのつくり方 など

[注] 各開催日とも、昼食を用意いたします。

JR金沢駅、JR東金沢駅より送迎バスを運行します。申込時に利用の有無をお知らせください。

平成18年度稲置学園財務の概要

■資金収支

(単位：千円)

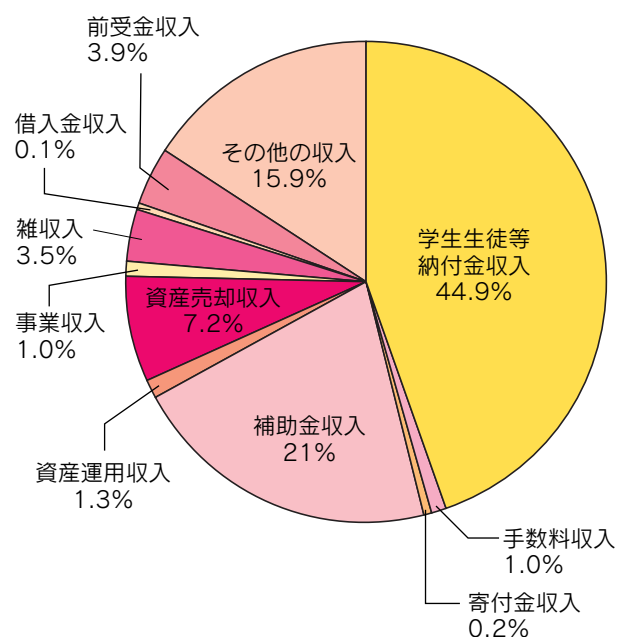
収入の部	
科目	決算
学生生徒等納付金収入	2,511,835
手数料収入	56,276
寄付金収入	12,031
補助金収入	1,176,038
資産運用収入	70,488
資産売却収入	400,000
事業収入	56,503
雑収入	197,117
借入金収入	4,820
前受金収入	219,393
その他の収入	889,616
資金収入調整勘定	△617,095
前年度繰越支払資金	3,301,956
資金収入の部合計	8,278,978

(単位：千円)

支出の部	
科目	決算
人件費支出	2,694,045
教育研究経費支出	884,121
管理経費支出	255,499
借入金等利息支出	9,341
借入金等返済支出	71,560
施設関係支出	325,032
設備関係支出	112,352
資産運用支出	590,487
その他の支出	244,212
予備費	0
資金支出調整勘定	△341,103
次年度繰越支払資金	3,433,432
資金支出の部合計	8,278,978

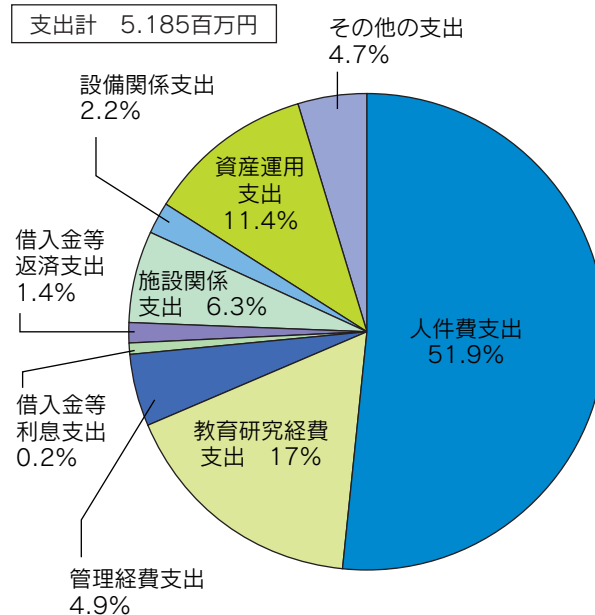
■収入構成比率

収入計 5,594百万円



■支出構成比率

支出計 5.185百万円



学園の財務状況の簡単な概要をお知らせします。また、関係者が閲覧できるよう、財務関係書類が法人本部に備えられています。今後、学園ホームページ(<http://www.seiryō.jp>)でも財務情報の掲載を予定しております。

行事スケジュール(8～10月)

－10月5日 学園創立記念日－

金沢星稜大学	
8月	1日(水)～6日(月) 一斉試験
9月	4日(火)～6日(木) 追再試
	21日(金) 前期学位記授与式・後期入学式
	25日(火) 後期授業開始
	25日(火)～10月1日(月) オリエンテーション授業期間・履修登録期間
10月	26日(金)～28日(日) 流星祭

星稜女子短期大学	
8月	1日(水)～2日(木) 補講日
	3日(金)～9日(木) 前期考査
	10日(金) 夏期休業開始(～9月26日)
	28日(火)～30日(木) 前期考査追・再試験
9月	25日(火) 後期オリエンテーション
	26日(水) 前期卒業証書授与式・夏期休業終
	28日(金) 後期授業開始
10月	26日(金)～28日(日) 星短祭

星稜中学・高等学校	
8月	1日(水) 学校見学会
	6日(月)～ 中学北信越(長野)
	24日(金)～ 北信越国体(福井)
	28日(火) 始業式
	30日(木)～31日(金) Pコース課外実習
9月	1日(土) 中学始業式
	3日(月)～ 4日(火) 星稜祭 中学宿泊研修
	13日(木)～16日(日) 前期新人大会
	22日(土)～24日(月) 中学金沢市新人戦
	26日(水) 運動会
	27日(木) 中学運動会
	29日(土)～10月9日(火) 国民体育大会(秋田)
	30日(日) 中学金沢市新人戦
10月	9日(火)～12日(金) 中間試験
	15日(月) 追試

星稜幼稚園	
9月	3日(月) 始業式
	6日(木) オープンハウス
	22日(土) 運動会
	26日(水) 避難訓練
	27日(木) いもほり(年長)
10月	1日(月) 願書受付
	2日(火) 年中遠足
	9日(火) 遠足(年長)
	12日(金) 遠足(年少)
	15日(月) 保育参観(年長)
	16日(火) 保育参観(年少)
	17日(水) 保育参観(年中)

星稜泉野幼稚園	
9月	3日(月) 始業式
	7日(金) オープンハウス
	16日(日) 運動会
	27日(木) いもほり遠足(年長)
10月	1日(月) 願書受付
	2日(火) 年中遠足
	3日(水) 年少遠足
	9日(火)～10日(水) 自由参観日
	16日(火) シルエット劇



あ と が き

園児から学生、保護者、教職員が一体となって踊った百万石踊り流し。入賞はできませんでしたが、踊り終えたあとの皆さんの表情は充実感でいっぱいでした。

大学の杉林孝法人間科学部講師が、8月に行われる世界陸上大阪大会三段跳の日本代表に決まりました。学園の教職員から初めての世界大会出場です。皆さんで応援しましょう。平成19年度の後半も、ホップ・ステップ・ジャンプで。これからよろしくお願いたします。

法人本部法人課 春本 裕雄

表紙：百万石踊り流し

学校法人稲置学園・設置各校

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
☎076-253-3924(代表)
<http://www.seiryu-u.ac.jp/>

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町丑1
☎076-253-5900(代表)
<http://www.seiryu.ac.jp/>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
☎076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp/>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
☎076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp/>

星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
☎076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
☎076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/izumino/>

星稜サ・エ・ラ

サ・エ・ラ(cà et là)とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てるという意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。

編集・発行／学校法人 稲置学園 2007年8月1日発行
石川県金沢市御所町丑10-1 ☎076-253-3908 <http://www.seiryu.jp>
編集責任者：春本裕雄(法人課長・秘書課長)
編集担当者：上田奈津子、井下桂子、宮崎 梢(以上秘書課)